

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（4月）

留学先：東呉大学

氏名：大戸彩未

東呉大学に来てから早くも2ヶ月が経ちました。私は1学期間の留学なのでここで折り返し地点です。思っていたよりもあっという間に留学期間が終わってしまいそうで驚いています。今回の報告書では、春休み中の出来事と4月の下旬にあった中間テスト、台湾での食生活について報告したいと思います。

春休み

4月の最初の一週間は春休みでした。私は日本人の友達と現地の日本語学科の友達と一緒に3日間台中へ旅行に行きました。4月でも気温が30度近くになる日もあり、とても暑かったです。台北から台中まではバスに乗って3時間くらいで着きました。台中では東海大学の中を散歩したり、有名なアイスクリーム屋さんに行ったりして、いろいろなところへ連れて行ってもらいました。どこも初めて訪れる場所ばかりでとても楽しかったです。



春休みの最終日には、東呉大学の日本人留学生のみんなと台湾料理を食べに行きました。この会は日本語学科の日本人の先生が月に一回くらいのペースで開催していて、毎回日本人留学生が集まって一緒に食事をしています。同じ授業を取っていない人たちとは普段あまり話す機会がないので、この会を通して普段の生活について話したり、おすすめの食べ物やお店を教えあったりしています。前学期から留学に来ている先輩たちとも話すことができるので、留学中の生活についてアドバイスをいただくこともあり、とても有意義な時間を過ごすことができます。

中間テスト

台湾の大学では後期の半分が終わったということで、4月の4週目には中間テストがありました。私は受講している科目数がそんなに多くないので、テストが3つとプレゼンが2つで、中間試験はない科目もありました。中国語のテストでは、筆記とスピーキングの2つのテストがありました。スピーキングのテストは、単語が書いてあるくじを5つ引いてそれらの単語を先生との会話の中ですべて使うというものでした。単語の意味だけではなく、その使い方も理解していないと上手くできないテストだったので少し難しかったです。

専門科目のテストで面白いと感じたのが日本文化についてのテストです。私は台湾の学生が日本についてどのように学んでいるのかに興味があったため、「日本文化概

論」という授業を現地の学生と一緒に受講しています。テストの内容は日本の学生が日本史の授業で習うような文化から、近代の映画やゲームなどについてまでありました。普段の授業でも、お弁当の歴史や日本の発明品など、日本人でも意外と知らない内容について学んでいます。私はもっと伝統的なことばかりを勉強しているのだと思っていたので、予想と違う授業内容に驚きました。

大学の食堂



東呉大学内の食堂はフードコートのようになっていて、中華料理のお店、メキシカンのお店、井ぶりのお店などいろいろあります。台湾の有名な食べ物である牛肉麵や豆花なども注文できます。私がよく利用しているのはグラムバーのお店です。自分で好きなおかずを選んで、その重さによって値段が決まります。私はいつも1食40元くらい（日本円で約150円）で済むのでお財布にも優しいです。寮には共同のキッチンしかなく自炊はほとんどしないので、平日は食堂で食べることが多いです。

夜市

留学に来る前、台湾の人たちはよく夜市で夕飯を食べると聞いていましたが、毎日本当にたくさんの方が夜市にいます。平日は学校帰りの高校生もたくさんいます。お店の看板に日本語を使っているところもあり、日本人観光客もよく見かけます。東呉大学の近くには士林夜市という有名なところがあるので、私はよく友達と一緒にそこへ行きます。夜市では食べ物だけでなく洋服や靴、雑貨なども買うことができ、夜市以外のお店よりも安く売っているので、とても便利です。私も帽子とアクセサリーを買いました。夜市の食べ物で有名なものとして、臭豆腐やフライドチキン、牡蠣のオムレツなどがあります。臭豆腐は初めの頃はにおいがきつく感じてお店に近づくこともできませんでした。何回も夜市に行くうちに慣れてきて、今ではおいしいと思えるようになりました。私が一番好きな夜市の食べ物は地瓜球というさつまいもの揚げもちのような台湾のおやつです。もちもち感があって甘くてとてもおいしいです。他大学の英語学科の人たちが外国人に台湾の食べ物を食べてもらって感想を聞くという企画をしていて、それをきっかけに臭豆腐と、猪血糕という豚の血ともち米をかためたものに初挑戦しました。猪血糕は日本では考えられない食べ物なので初めは少し怖かったですが、血の味はほとんどなく日本のおはぎのような感じでおいしかったです。台湾の食べ物は日本にはないようなものが多く、初めて食べるのが怖いものがたくさんありますが、勇気を出して挑戦してみると意外とおいしかったりすることがあるので、残りの留学期間でも新しいものに挑戦してみたいです。

